福島の子どもたちを故郷・鹿児島に招待

長渕先生 魂の野外授業

「思い出が残れば、どんなことがあっても生きていける」

シンガー・ソングライター長渕剛(54)が、福島第1原発事故の影響で避難生活を送る福島県浪江町の小学生20人を出身地・鹿児島に招待し、自然と夏を満喫してもらおうと企画したサマーキャンプが、1日からスタート。長渕は4日、子どもたち(鹿児島湾)浮かぶ桜島の無人島、神造島(かみつくりじま)の探検に合流。魚釣りや海水浴、水上バイクなどを楽しんだ子どもたちに、とびっきりの笑顔がはじけた。

参加したのは、浪江町の小学生20人とホームスティ先の子ども合わせて28人。長渕(中央)に肩車されている男児も大喜び

◆長渕剛 TRY AGAIN for JAPAN 福島っ子 鹿児島サマーキャンプ in 霧島 開催の詳細

東日本大震災が発生した翌日の3月12日。福島第1原発から半径10キロ圏内にある浪江町の一部に避難指示が出された。4月22日には同町の全域が対象区域に。小学生たちはクラスメートとバラバラになり、慣れない土地での生活を余儀なくされた。

震災後、復興支援ラジオ番組「長渕剛 RUN FOR TOMORROW～明日へ向かって」を立ち上げ、被災者や避難生活者を励まし続けてきた長渕にとっても、浪江町はシングル「しあわせになろうよ」のプロモーションビデオを撮影した場所だけに、リスナーの生の声を聞くたびに子どもたちに希望を与えたいという気持ちが強くなっていった。

そこで、夏休みに海水浴にも行けない福島の子どもたちに、費用を全額負担する形で鹿児島を満喫してもらおうとサマーキャンプを企画し、30年以上の付き合いという前田株式会社霧島市長に相談。快諾を得て、医師や消防局、PTA「霧島市おやじの会」のメンバーら約40人がボランティアとして参加することになった。

「最高のプレゼント」

○…小学生の引率者としてキャンプに参加している浪江町の苅野小学校教員・横山浩志さん(46)は「仲のいい友達ともバラバラになって、子どもたちは口には出さないけど、つらいと思う。そんな中で非常に明るい表情を見られて本当にありがたい。長渕さんに最高のプレゼントをいただきました」と海ではしゃぐ子どもたちの姿を見ながら感激の様子だった。

避難所を転々とした後、先月末から福島県二本松市内の仮設住宅に入ったという浪江小の6年生・荒木利陽君も「長渕さんはかっこよくて優しい。釣りも水上スキーもめちゃくちゃ楽しかった」と目を輝かせた。

福島県浪江町から招待した小学生を乗せて水上バイクを運転する長渕剛＝鹿児島県霧島市で

◆この日のスケジュール◆

8:00	霧島市・隼人港を漁船(40人乗り)で出発
8:15	魚釣り用巨大イカダで魚釣り
10:30	小舟で上陸、神社で安全祈願
10:45	海水浴と水上バイク、バナナボートなどマリンスポーツ体験
12:30	昼食
13:00	再び海水浴、マリンスポーツ体験
15:00	終了、隼人港へ帰港

無人島を探検

「わぁー、見て見て」。でっかいのが釣れた"どや顔"をみせた。ジャやサバは入れ食い状態。女の子たちも重なるように大歓びだった。

参加希望者の中から抽選で選ばれたのは、浪江町の4つの小学校にいた4年～6年生の男子11人、女子2人。さらに、4日夜から子どもたちが地元でホームスティをするため、この日はその受け入れ先の子ども8人も無人島探検に加わった。

水上バイクで

午前10時すぎ、島に上陸した子どもたちの前に、水上バイクに乗った長渕が登場すると「かっこいい！」と歓声が上がった。全員で島内の神社へ。安全祈願を済ませた後、長渕は早速子どもたちと海へ。「おい、誰かここまで来てみろよ」。少し深いところまで泳ぐ。陸上で待っていた子どもたちが、一斉に飛び込んだ。

次は、水上バイクに子どもたちを順番に乗せ、争奪戦が始まった。

一緒に楽しむ

その後、再び海水浴などで子どもたちと触れ合い、無人島探索は午後3時に終了。長渕は「一番大事なのは、大人が思いつきり楽しむ姿を子どもに見せること。昨日まで顔が死んでいた子どもたちが、海に入ったら目の色がパチンと変わった。われら大人たちが見守ってるんじゃなくて、率先して立つことが大事だと思う。と満足そうに語った。

今年は極真空手の体験や登山、陶芸体験などが予定されていたが、7日にキャンプが終了すると、子どもたちはまたそれぞれの避難先に戻ることになる。長渕は「思い出は一生残る。それが宝物だよね。それが残れば、どんなことがあっても生きていける」とした上で、被災地に今必要なのは、リーダーとなる大人たちだと強調する。

「大人と大人が子どもたちの未来に懸け橋をつくることが大事。震災や原発事故を機に、生き方の意味や価値観にチャンネルを変える時代が来たと思う。大人たちの国づくりすなわち、子どもたちの明るい未来をつくり出す。長渕はそれを(この)キャンプで実践し、証明して見せた。(江川悠)

猛スピードで沖へ。体験したことのないスリル満点の世界にみんな大興奮。ぞ！」。「よーし、メシ食うぞ！」。午後3時半、すっかりおなかが減った子どもたちと一緒に、おにぎりと釣った魚の刺身や焼魚き、味噌汁などに舌鼓を打った。

▼神造島(かみつくりしま)

鹿児島湾の霧島市沖にある湾内唯一の無人島。別名を隼人三島といい、北側から順に辺田小島、弁天島、神小島と呼ばれる3つの島の総称。